

◆家庭用の油搾り器 旬石野製作所（山口市）は、卓上で使える家庭用の油搾り器「SHIBORO 2」を発売した。写真。動力は使わず簡単な操作で、いりごまなら30号から55号8ミリが搾れる。ゴマだけでなく、クルミやアーモンド、ナタネ、ツバキ、ヒマワリの種子な



どでも利用可能だ。「直売所や農家レストランなどで利用してほしい」としている。価格は1台6万8250円。

こだわり栽培のゴマやヒマワリ、ツバキなどから油を搾る場合は、高価な機械や専門業者への依頼などで対応する方法が多く、産地の悩みの種。もっと安く、産地の悩みの種。もっと安くに手軽にできないかという声に応え同社は昨年、家庭用の搾油器「SHIBORO」を発売。1台12万6000円というやや高め価格ながらも品切れになるほどの人気を博した。

そこで、導入しやすい価格設定で、搾油効率も向上させた2号機を開発。油を搾った後の搾りかすを活用しての加工品なども可能としている。問い合わせは同社、☎0835（56）0210。